

日本分子生物学会キャリアパス委員会／日本生化学会男女共同参画推進委員会 共同企画ランチョンセミナー 「研究者人生における様々な選択肢」

日 時：2017年12月9日(土)11:45～13:15

LOD

会 場：第4会場(神戸ポートピアホテル 本館 地下1階 和楽)

●イントロダクション

小林武彦(日本分子生物学会キャリアパス委員会 委員長)

●ケータイをつかった聴衆参加型ディスカッション

【第一部】

＜分生＞井関祥子(医科歯科大)、大谷直子(大阪市大)、小林武彦(東大)、
中川真一(北大)、花嶋かりな(早大)

＜生化＞今泉美佳(杏林大)、澤崎達也(愛媛大/司会)

【第二部】

＜分生＞加納純子(阪大)、來生江利子(第一三共)、木村 宏(東工大)、
斉藤典子(がん研/司会)、山本 卓(広島大)

＜生化＞齋藤玉緒(上智大)、高須賀太一(北大)

人生には様々な岐路がありますが、研究者人生にも多くの選択肢があり、時には大きな決断を迫られることがあります。例えば博士課程に進学するのか、企業に就職するのか、日本でポスドクになるのか、海外留学するのかなどなど。

ConBio2017では、日本分子生物学会キャリアパス委員会と日本生化学会男女共同参画推進委員会の共同企画ランチョンセミナーとして、「研究者人生における様々な選択肢」について、それをどのように考え決断してきたのか、先人の意見を聞きながら語り合いたいと思っております。

※本ランチョンセミナーはオンデマンド配信を予定しております。

※会場にてお弁当をご用意いたします。(先着順/数に限りがありますこと、ご了承ください)

※参加者の皆様にはご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、ご意見を会場のスクリーンにリアルタイム表示する「ケータイアナライズシステム」を導入します。